

学びの庭

文責 北 保志

「富雄を知ろう・奈良を知ろう」特集号⑥

実りの秋、充実した二期に

今年は、猛暑・局地的な豪雨と激しい夏でした。九月に入り、夏の暑さも和らぎ、過ごしやすい季節になってきました。二期期が始まり二週間がたち、生徒たちは生活リズムも元に戻り、学習に部活動にと精一杯励んでいます。この二期期、生徒たち・教職員が一体となり、大きな成果を出せるよう頑張っています。

富雄を知ろう 現地に行くと、富雄の歴史を調べてきました。

富雄川周辺の土地には、昨年度の学校だより「学びの庭」特集号⑤で紹介しましたが、神武天皇の伝承が伝わっています。神武天皇は「古事記」「日本書紀」とも、初代天皇としていられることはいまでもありません。しかし、多くの研究者によって指摘されているように、実在性については疑問視されています。とはいえ、伝承は具体的な土地を舞台に語られていますので、その場所の風景と伝承について紹介します。

神武天皇のことを、「古事記」ではカムヤマトイワレヒコノミコト(神倭伊波礼毘古命)とよんでいます。カムヤマトイワレヒコノミコトの軍団は宮城県日向を出て瀬戸内海を船で東に向かい、難波の港から、今日の東大阪市あたり、生駒山の山麓にやってきましたと、登美(とび)のナガスネヒコ(那賀須泥毘古)の軍勢が待ち構えていて戦闘になり、カムヤマトイワレヒコノミコトの軍は、登美の土着勢力に阻まれて、大和に入ることができず、大阪湾を南に行き熊野に向かうこととなりました。この登美は、富雄にその名をとどめています。「日本書紀」(上巻)に「鴈(いかるが)の 富の小川の 絶えばこそ わが大君の御名忘れぬ」という歌が載っています。この「富の小川」こそ「登美の小川」のことで、今日では富雄川と呼ばれています。いかるがの富の小川の水が枯れたら、大君(聖徳太子)の名は忘れられよう、いや、そんなことは、ありえないというのが歌の意味です。

熊野から大和に入ったカムヤマトイワレヒコは、最後にトミビコ(登美毘古、ナガスネヒコのこと)を撃ちました。その時、ニギハヤヒノミコト(邇邇速日命)という神が、カムヤマトイワレヒコのところに来て、「天の神の御子が天からお降りになったと聞きましたので、後を追って参りました。」と言って、天から持参した宝物を捧げて仕えることになりました。

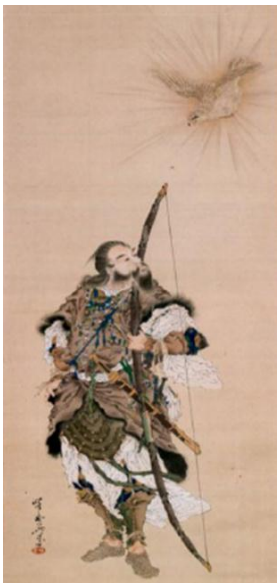
「日本書紀」では、神武天皇の軍がナガスネヒコと交戦した時、金色の鴈(とび)が天皇の弓の弭(はず) 弓の端の弦をかける(とび)にとまり、その輝きによってナガスネヒコの軍勢は目がくらみ戦うことができなくなり、この地を鴈邑(とびのむら)と名づけたとあります。

一町、富雄川の東岸、夫婦塚の対岸には、「神武天皇聖跡鴈邑顕彰碑」があり、裏面には、日本書紀を要約し、金の鴈の瑞兆によって、この地が「鴈邑」と呼ばれるようになったことが記されています。(出垣内バス停下車すぐ)



「神武天皇聖跡鴈邑顕彰碑」と彫られている

碑の案内板・バス停



ニギハヤヒについて別の史料として「先代旧事本紀(せんだいくじほん)ぎ」(九世紀中期に物部氏の関係者によって編纂された史書)によりますと、ニギハヤヒが天神の御祖の詔(みおやのみことり)によって、天磐船(あめのいわふね)に乗って河内国河上峰(いかるがのみね)に天降り、そして大倭国鳥見(やまとのくにとみ)の白庭山に遷るとあります。河上峰は大倭国交野市(きさいち)にある磐船神社(いわぶねじんじや)あたりではないかと言われています。また、白庭山は、生駒市広谷ではないかとする説がありますが、確実な証拠はありません。生駒市に白庭山という近年開発された住宅地がありますが、ニギハヤヒの伝承に因んでつけられた地名だそうです。

「長髓彦本拠」と彫られている



「鳥見白庭山」と彫られている



登美に由来する登弥神社(とみじんじや)が、奈良市石木町(いしきちょう)にあります。奈良市と大和郡山市の境界付近で、富雄川の東岸にあり、平安時代にさかのぼる式内社登弥神社にあてることができると考えられています。境内東方の字一ノ谷(あざちのたに) 一帯から多数の銀銭・銅銭・土師器片が出土していて、祭祀を行った遺跡の可能性が高いと思われます。(古事記の奈良大和路・千田稔著より引用)

同窓会から掲示板を寄贈

同窓会から、この夏休みに生徒通門に掲示板を設置してもらいました。早速、日ごろの学習の様子や部活動での活躍等を発信しています。

なお、同窓会からは、平成二十五年度は合唱コンクールのトロフィー・体育大会のカップを、平成二十四年度には正門・通用門の校名プレート・壁画等改修、校訓碑・二宮金次郎像・若人の象の修理などを行っていただきました。同窓生の皆さんが、在校生の頑張りに向けて寄贈いただいたものです。大切に使用するとともに、その期待に応えさせていただきます。



お知らせ

十月二日(金)に体育大会(予備日・十月五日)を、十月二十三日(金)に文化発表会を、十月二十六日(月)に親子文化鑑賞会(三年に一度開催)を実施します。日ごろの取組の様子を知っていただける機会ですので、是非ご来校いただき、生徒の活動の様子を、ご覧くださいませようお願いします。また、十月一日(木)三年・第二回学力診断テスト、十月十三(火)・十四日(水)金学年・中間テストを実施します。